

平成26年度国債発行予定額

＜発行根拠法別発行額＞

(単位:億円)

区 分	26年度当初 (a)	26年度補正後	
		(b)	(b) - (a)
建設国債	60,020	65,770	5,750
特例国債	352,480	339,159	▲ 13,321
小 計	412,500	404,929	▲ 7,571
復興債	21,393	10,970	▲ 10,423
財投債	160,000	160,000	-
借換債	1,221,495	1,200,714	▲ 20,781
うち復興債分	15,129	8,730	▲ 6,398
国債発行総額	1,815,388	1,776,613	▲ 38,775

＜消化方式別発行額＞

(単位:億円)

区 分	26年度当初 (a)	26年度補正後	
		(b)	(b) - (a)
カレンダーベース 市中発行額	1,551,000	1,545,000	▲ 6,000
第Ⅱ非価格 競争入札	44,700	68,793	24,093
年度間調整分	83,688	25,820	▲ 57,868
市中発行分 計	1,679,388	1,639,613	▲ 39,775
個人向け国債	21,000	24,000	3,000
その他窓販	4,000	2,000	▲ 2,000
個人向け販売分 計	25,000	26,000	1,000
公的部門(日銀乗換)	111,000	111,000	-
合 計	1,815,388	1,776,613	▲ 38,775

- ・平成26年度の市中からの買入消却については、物価連動債の発行額を上限として行う買入消却を含め、総額4兆円程度を上限に実施（具体的な実施方法は、四半期ごとに市場の状況を見ながら決定）。
- ・平成26年度における前倒債の発行限度額は29兆円。

(注1) 各計数ごとに四捨五入したため、計において符合しない場合がある。

(注2) カレンダーベース市中発行額とは、あらかじめ額を定めた入札により定期的に発行する国債の4月から翌年3月までの発行予定額の総額をいう。

(注3) 第Ⅱ非価格競争入札とは、価格競争入札における加重平均価格を発行価格とする、価格競争入札の結果公表後に実施される国債市場特別参加者向けの入札をいう(価格競争入札における各国債市場特別参加者の落札額の15%を上限)。

(注4) 年度間調整分とは、前倒債の発行や出納整理期間発行を通じた、前年度及び後年度との調整分をいう。